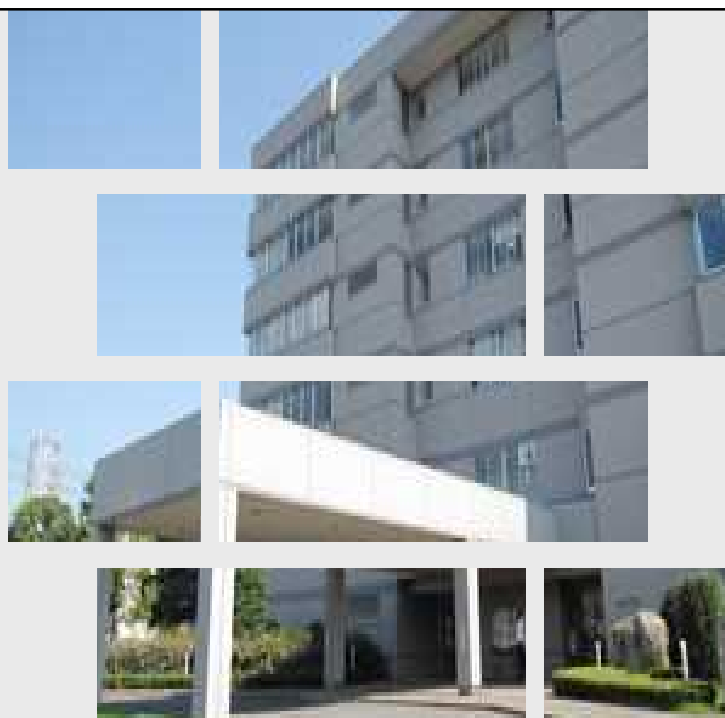


不登校の現状と今後の対応について

R7.10.23 総合教育会議

和光市教育委員会 学校教育課



1

1. 全国的な状況

【令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要（R6.10.31 文部科学省）】

346,482
3.7% 人

不登校児童生徒数

190,392
55.0% 人

90日以上欠席

■ 不登校の主な要因（複数回答）

- ・学校生活に対して「やる気が出ない」など：32.2%
- ・不安・抑うつ相談：23.1%

■ 不登校は誰にでも起こりうる身近な課題

- ・不登校の背景には、**無気力・不安・生活リズムの乱れ**など、誰にでも起こりうる要因が多く含まれており、特定の問題行動や家庭環境に限らない。
- ・支援の充実や学校外の居場所づくりが求められている。

2



3

2. 国の施策

【令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要（R6.10.31 文部科学省）】

多様な学びの場の確保

- 学びの多様化学校（300校設置）
- 校内教育支援センター
- 教育支援センターの機能強化
- ICT・オンライン活用

チームによる早期支援体制

- SC・SSW等によるチーム支援
- 心の健康観察（1人1台端末）
- 福祉部局との連携（こども家庭庁）

学校風土の見える化

- 学校風土把握ツールの活用
- 校則等の見直し
- いじめ対応強化（警察連携）

3



4

3. 県の実践

【埼玉県ホームページより】



SC・SSW

- 心理・福祉の専門家を学校に配置
- 児童生徒の相談対応、保護者・教職員への助言



ガイドブック

- 不登校の未然防止から長期化対応までを網羅
- 教職員の支援力向上を目的とした実践的資料



メタバース空間

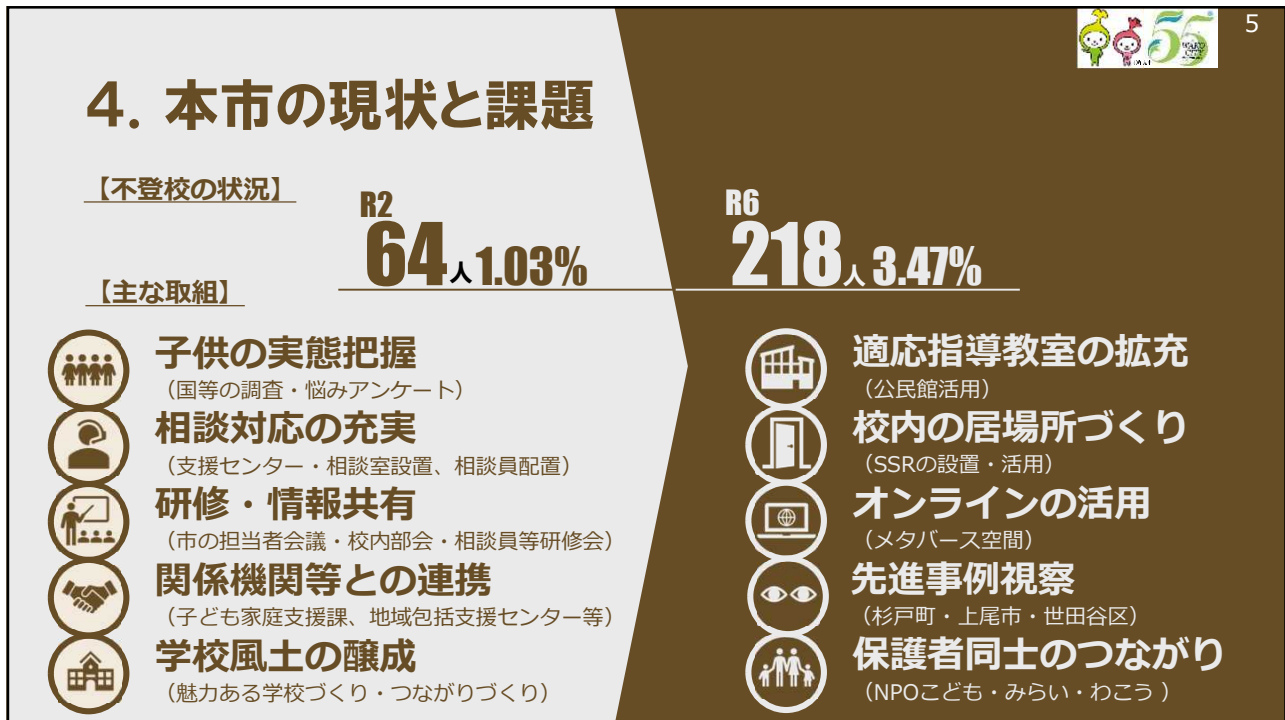
- 学習・相談支援を仮想空間で実施
- 朝の会や社会科見学など多様な活動展開
- SC・SSWとのオンライン相談も可能



保護者支援

- 保護者向けセミナーや相談窓口の整備
- 保護者の体験談の共有による共感と安心感
- 親の会・民間団体との連携による支援

4



5



6